

【更新案意見交換会】ディスカッションまとめ

参加者からは、「このプロジェクトに関わっていることに感謝したい、文化遺産と社会との繋がりが理解できた、是非このプロジェクトを成功してほしい」といった歓迎するコメント共に、「提案されたものはいつ実現できるのか？」といった質問に対して、「はっきりとは答えられない」との返答がなされるなど次の具体化へのステップが求められる状況が見受けられた。観光考古省職員から、「住民の意見を大切にしたいプロジェクトであり、国立都市景観調和機構(NUOH)と共同のプロジェクトで、ユネスコとも関わりがあるので、このような機会は大切である。特に歴史的建造物の建物ばかりに集中するのではなく、住民の意見をそこに活かそうという点は評価できる」とのコメントがあり、この事業への評価が感じられた。

住民からの「違法で建てられた建築は取り壊されるのか？」の質問に対して、観光考古省職員から「現在、古い建物をリストアップ中で、建物の構造がきちんと耐えられるのかということを見積りしている。ただし、観光考古省としては、一般の建物ではなく歴史的な建物をどう保存するかの視点に注目している。」という回答があった。参加した建築家から「カイロは地震が多く、耐震補強をする必要がある建物がたくさんある。」との意見があった。住民から「古い建物が壊れると周辺住民に被害が及ぶのではないか」とのコメントがあるなど、壊したほうが安全なのではという住民の現状を心配する意識と、壊される以前にその建物の歴史的価値を評価して保存すべき建物があるという専門家の意識のズレも垣間見られた。別の住民から「違法建築や古くて耐震性に疑いのある建造物の撤去に関しては、政府主導で行われ、残念ながら住民の決定は届かない。」「旧市街では、住民自身が価値のない建物だと思って、歴史的な建物を壊してしまう場合も多々起きている。」など、建物の撤去・倒壊については、住民たちの注視の的になっていることが明らかである。その背後には、近年政府が、違法建築(インフォーマル住居、アシウワイヤ)の撤廃をスローガンに掲げているという状況がある。

住民側から、アラー氏の提案に対して、「スーク・シラーハの入り口から文化、工芸、食文化という順は、どうか、特に文化ではスーク・シラーハの歴史をドキュメンタリー等で訪問客に知ってもらい、その後工芸を楽しみ、最後に食事するということは、考えられないか。」という意見に対し、アラー氏から「3つのノードを提案したが、それは固定的なものではなく、それぞれのエリアに色々なアクティビティーを含むと理解して欲しい。建物の状況や土地の形状に合わせて多様な機能を持たせる必要がある。また、このプレゼンテーションをぜひ行政側に住民側からの同意や意見をいただいたということで報告したい。」と回答があった。住民側からのもう一つのお願として、交通計画、特にトゥクトゥクに関する規制はアラー氏のプランを実現していく上でも重要だとの指摘があった。

深見氏から「住民みんなにとって住みやすい街を作ること、歴史的に価値がある街に誇りをもって住めるようにしていくことが大切。そのために、旧市街カイロの歴史遺産や既存の建造物や道路は十分に利用できる。」というコメントは、参加者からの感謝を表す言葉からも、しっかり届いていることがうかがえた。サラ氏から「大学でも、取り壊すべき建物と保存すべき建物をどう扱うかは大切なテーマであり、常に議論をしている。建物が半壊していたら壊してしまった方が早いとして、新しいビルをたてる人もいる。自分として、それはいけないことだとおもう。実際、修復保存することによって、価値が増す事例に携わった。」とコメントがあるなど、完全でない古い建物をどのように扱っていくのかという点は今後とも大切なテーマになると思われる。

オンラインで入っている日本側専門家から「とても良い会であった。素晴らしい提案であり、活発な意見

交換がありとても良かったと思う。プレゼンテーションへの質問がいくつかあるが、時間の関係で紹介はできないが、質問があるということは、プレゼンテーションが素晴らしかったということである。特にアラー氏の多目的ゾーン、クラフトゾーン、美食のゾーンなどスーク・シラーハのエリアをゾーニングして計画している点、それに、環境改善、サービス活動、ボランティア活動といったプログラムを重ね合わせている点の評価したい。計画案を元に住民とディスカッションするというデザインレビューを繰り返すことが、良質な建築や街をつくる大切なプロセスであり、本日はそれが行われたわけで、今後とも続けてもらいたい。日本には住民参加のプロジェクト事例や仕組みがあるので、今後も紹介するなど協力をしたいと思っている。」とのコメントがされた。

終了後における日本人専門家の話し合いでは、意見交換会を評価すると共に、今後の課題とアイデアについてのコメントを以下に示す。

- ・何か小さくても実現させるパイロットプランを作ることが大切、このことにより、人を巻き込むことができ、その良さと体験を共有すれば、次に繋がることになる。
- ・リノベーションには費用がかかる、その費用を集める活動や事業提案も必要である。
- ・広場などオープンスペースは費用も少なくともすむので、取り掛かりやすい。まずはどこかでやってみても良いのではないか。
- ・投資家やデベロッパーにアピールする動画を作り、資金集めをするのも良い。